



11月30日(土) 8:00~9:30
※詳しくは、ホームページをご覧ください。

記事

- ◇ 「宮崎海岸侵食対策検討委員会」 「宮崎海岸市民談義所」の結果報告
- ◇ 埋設護岸工事へのご協力をお願い

「宮崎海岸侵食対策検討委員会」 「宮崎海岸市民談義所」の結果報告

国土交通省と宮崎県は、宮崎海岸の侵食対策を行うにあたって、学識経験者・地域住民代表者・海岸利用者等から幅広く意見を収集して議論を深めるために「宮崎海岸侵食対策検討委員会」（以下、「委員会」）を設置しています。

9月18日（水）に開催した委員会の結果については、以下のとおりです。

「第12回 宮崎海岸侵食対策検討委員会」

宮崎海岸の侵食対策の1つで、砂丘の侵食を防ぐことを目的とした埋設護岸について、「できるだけコンクリート以外の材料を使う」という方針に基づき検討を行ってきた結果、全国初となるサンドパック工法を採用し、整備を進めることが了承されました。

また、宮崎海岸の侵食対策による効果・影響を評価する手法、平成24年度の調査結果を踏まえた年次評価が取りまとめられました。

委員会の様子



テレビや新聞など多数の報道関係に取り上げられたことで、多くの方々に事業を知ってもらう良い機会となりました。

委員会の結果を受けて、事業主体である国土交通省は、埋設護岸の工法としてサンドパックを整備していくことを決定しました。

「第22回 宮崎海岸市民談義所」

10月2日（水）に開催した「宮崎海岸市民談義所」（以下、「談義所」）では、委員会で議論した内容を紹介するとともに、委員会の佐藤委員長よりサンドパック工法について、海外の事例や今後の展望等を解説いただきました。

参加者からは「サンドパックの耐久性や維持管理について教えてほしい」「洗掘対策であるアスファルトマットについて、砂浜への敷き方はどうなるのか」「サンドパックの整備が完了しても、波が当たり続ければ簡単に破壊されると思う。サンドパック整備後は、間を空けず早急に砂浜を回復させる対策を実施すべきだ。」など、多様な意見が出されました。

今後、大炊田地区の海岸において、埋設護岸工事を実施します。

工事期間中の注意事項については、裏面をご確認ください。

談義所の様子



国や専門家の説明を受けて、市民が多様な意見を出し合い、議論を深めています。

質問コーナーの様子



はじめての方でも参加しやすいように、なんでも質問できる時間を設けています。

※委員会・談義所の議事概要は、宮崎河川国道事務所ホームページに掲載予定です。
当日の配付資料や「宮崎海岸の侵食対策」に関する資料についても、閲覧できます。

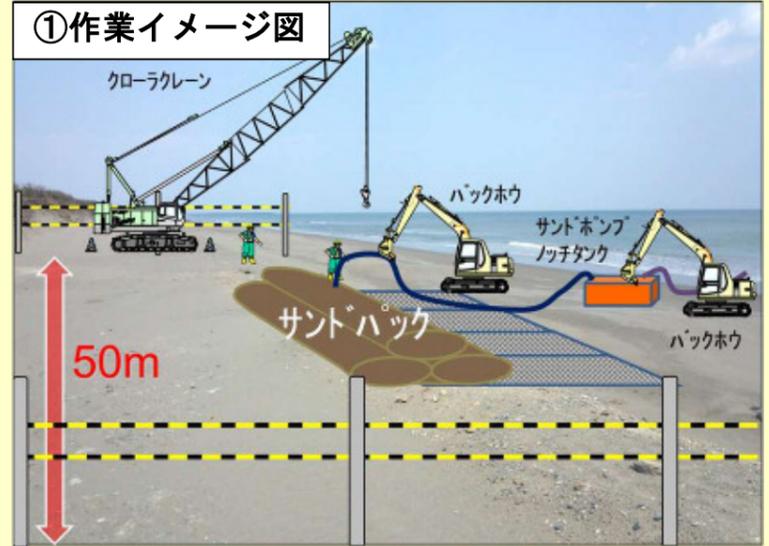
埋設護岸工事へのご協力をお願い

現在、大炊田地区の海岸では、「宮崎海岸の侵食対策」の1つである埋設護岸について、3月末までの完成を目指し工事を行っています。

地域住民や利用者の方々にはご迷惑をおかけしますが、安全作業に努めますので、以下の事項にご注意いただくとともに、ご理解・ご協力をよろしくお願い致します。

◆海岸の立入禁止について

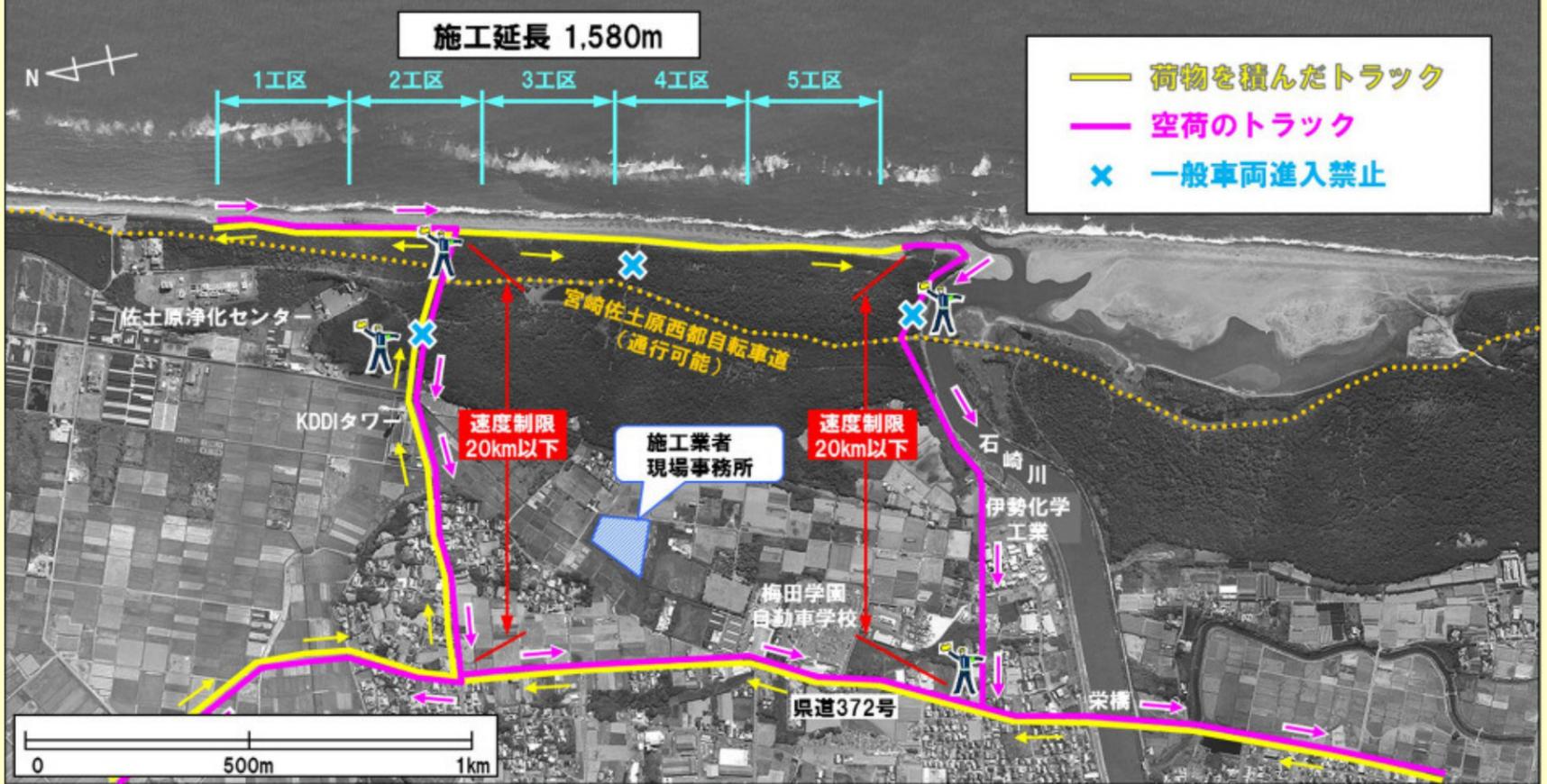
- 作業範囲は「右図①」のとおりロープなどで明示し、立入禁止となります。
作業範囲は1箇所あたり約50mで、施工延長1,580mのうち3箇所です。同時に作業を行います。（作業範囲の3箇所は、日々移動します。）



◆工事用車両の通行について

- ダンプトラックなどの大型車両が「下図②」の経路を通行します。
(ピーク時は、1日あたり約50台のダンプトラックが6往復します。)
なお、朝の通学時間帯を避け、8時30分から走行を開始します。
- 各所に交通誘導員を配置し、一般車両の安全・優先利用に努めます。
「宮崎佐土原西都自転車道」は通行可能ですが、道路を横断する際は十分ご注意ください。
ととも、交通誘導員の指示に従ってください。

②工事用車両通行経路図 (大炊田地区)



海岸に関するご相談やご意見・ご質問などありましたら

かいがん そうだんしょ
○海岸よろず相談所○

こくどうつうしょう みやざきかせんこくどうじむしょ みやざきかいがんしゅつちょうしょ
【国土交通省 宮崎河川国道事務所 宮崎海岸出張所】

にご連絡下さい。

TEL: 0985-62-7050/FAX: 0985-62-7051

〒880-0211 宮崎県 宮崎市 佐土原町 下田島 9515-6

【旧 宮崎地方方法務局 佐土原出張所】

※宮崎河川国道事務所ホームページ

<http://www.qsr.mlit.go.jp/miyazaki/>

※海岸情報 (宮崎海岸Publication)

<http://www.qsr.mlit.go.jp/miyazaki/html/kasen/sskondan/index.html>

↑前号までの「海岸よろず相談所だより」は、こちらから御覧いただけます。





魚釣りが盛んな季節となりました。

記事

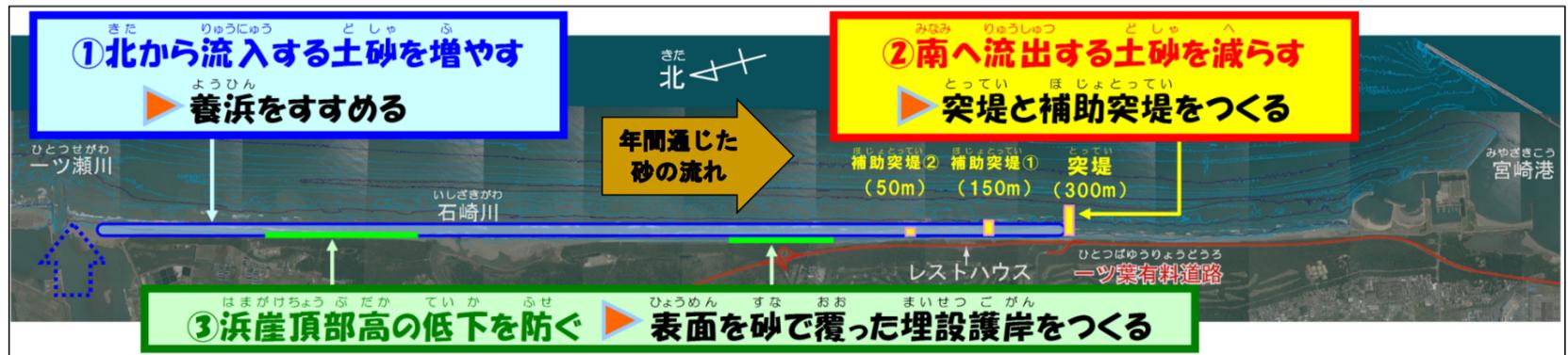
- ◇ 「宮崎海岸侵食対策」平成25年度実施工事の進捗状況
- ◇ 海岸侵食対策「埋設護岸」～サンドパック工法～ 現地見学会の報告
- ◇ 「第12回 石崎浜ビーチクリーン」に約400名が参加

「宮崎海岸侵食対策」平成25年度実施工事の進捗状況

「宮崎海岸の侵食対策」とは

国土交通省と宮崎県は、年々減少している砂浜を回復させ、浜幅50mを確保することを目標として、以下の3つの侵食対策を行っています。

- ①人工的に砂を供給する「**養浜**」を行うなど、流入する土砂を増やします。
- ②養浜した砂を逃がさない最小限の施設として「**突堤**」をつくります。
- ③自然の堤防である砂丘がくずれないように「**埋設護岸**」をつくります。



① 養浜

動物園東側や石崎浜、大炊田地区の自然の砂浜が残る区間の海岸で実施している養浜については、今年度重なる台風の影響により砂が著しく流出した箇所を重点的に砂を供給しています。

石崎浜（歓鯨館東側）の状況



H25. 10. 10 撮影（台風24号通過後）

H25. 12. 6 撮影（養浜工事施工中）

② 突堤

シーガイアIC東側の海岸で整備を進めている突堤（計画延長300m）については、施工済みである30mの先端部より45m延伸します。

場所によっては、波の影響を受けにくい限られた時間内で、昼夜問わず作業を実施しています。



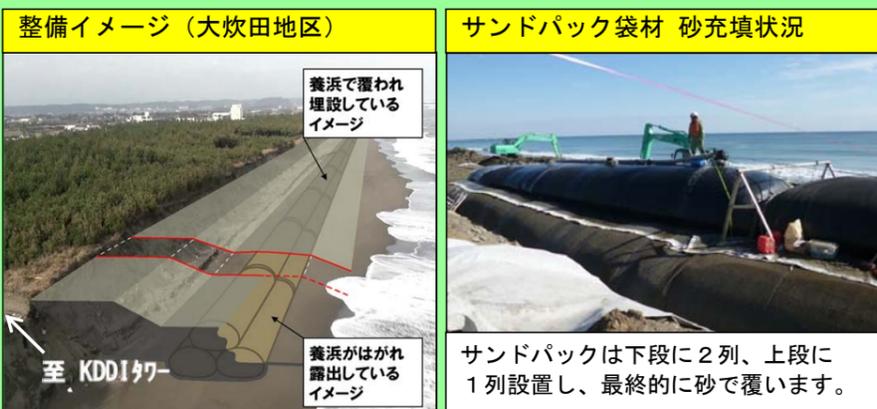
H25. 12. 12 撮影

③ 埋設護岸

大炊田地区の海岸で整備を進めている埋設護岸については、サンドパック袋材に砂の充填を行っています。

砂の充填が終わったサンドパックを大量の砂で覆い、自然の砂浜のように仕上げます。

（右図「整備イメージ」を参照。）



整備イメージ（大炊田地区）

サンドパック袋材 砂充填状況

サンドパックは下段に2列、上段に1列設置し、最終的に砂で覆います。

海岸侵食対策「埋設護岸」～サンドパック工法～ 現地見学会の報告

12月14日（土）に埋設護岸工事の現地見学会を開催しました。

全国初となるコンクリートではない新たな素材^(注)を用いた護岸【サンドパック】について、整備状況をご覧いただきました。

参加者は間近で見たサンドパックに興味津々といった様子で、表面に直接手を触れて質感を確認したり、積極的に質問したりしていました。

また、「コンクリートと比べて効果はどうか」「台風が来ても動かないのか」「効果に期待している」「早く完成して欲しい」など、多くの意見が出ました。

いただいたご意見は、今後、サンドパックを管理していくにあたっての参考としたいと思います。

(注) 素材は、ポリプロピレン。ペットボトルのフタなどに使用されています。サンドパックの表面イメージは、宮崎海岸出張所でご覧になれます。

現地見学会の様子



地元住民を中心とした約70名に参加いただきました。

サンドパック



参加者は、見た目や大きさ、質感を確認していました。

「第12回 石崎浜ビーチクリーン」に約400名が参加

『宮崎の海岸をみんなで美しくする会』では、アカウミガメをはじめとした希少な動植物が生息する宮崎の海岸において、環境に配慮した海岸利用方法の検討や、海岸利用者のマナー向上のための活動を行っています。

例年、台風シーズンが終了した時期には、大量に漂着しているゴミや流木を撤去するため、石崎浜で海岸清掃を行っており、今年は11月30日（土）に開催しました。

今年は台風の発生が例年より多かったこともあり、砂浜には大量の漂着ゴミが散乱していましたが、地元のみならず市外遠方から参加いただいた方など、総勢約400名の手により綺麗な砂浜になりました。

皆様のご協力により、一大イベントとして定着しつつある「石崎浜ビーチクリーン」は、平成26年も開催していきますので、引き続き、ご支援をよろしくお願い致します。

次回は、アカウミガメの産卵期前の**5月頃**に開催を予定しています。

清掃開始前の様子



「アカウミガメの話」終了後も、質問で盛り上がっていました。



当日の展示物(パネル・動画など)は、宮崎海岸出張所でご覧になれます。

ゴミ・流木収集の様子



1kmにおよぶ砂浜を、参加者の協力で隅々まで清掃しました。

海岸清掃の成果



約90袋ものゴミが収集され、たくさんの流木の山ができました。

海岸に関するご相談やご意見・ご質問などありましたら

○海岸よろず相談所○

【国土交通省 宮崎河川国道事務所 宮崎海岸出張所】

にご連絡下さい。

TEL: 0985-62-7050 / FAX: 0985-62-7051

〒880-0211 宮崎県 宮崎市 佐土原町 下田島 9515-6

【旧 宮崎地方務局 佐土原出張所】

※宮崎河川国道事務所ホームページ

<http://www.qsr.mlit.go.jp/miyazaki/>

※海岸情報 (宮崎海岸Publication)

<http://www.qsr.mlit.go.jp/miyazaki/html/kasen/sskondan/index.html>

↑前号までの「海岸よろず相談所だより」は、こちらから御覧いただけます。



記事

- ◇ 全国初の埋設護岸（サンドバック工法）工事が完了しました
- ◇ 「第13回 石崎浜ビーチクリーン」開催のお知らせ
- ◇ 宮崎海岸出張所のメンバー紹介



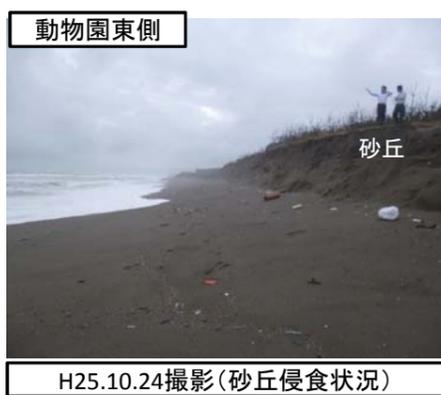
全国初の埋設護岸（サンドバック工法）工事が完了しました

国土交通省と宮崎県では、年々減少している砂浜を回復させ、浜幅50mを確保することを目標として「宮崎海岸の侵食対策」（養浜、突堤、埋設護岸）を行っています。

平成25年度に実施した養浜をはじめ、突堤の延伸工事、大炊田地区の海岸で着工した埋設護岸（サンドバック工法）の工事経過について報告します。

養 浜（人工的に砂を供給）

自然の砂浜が残る区間で、砂丘の侵食を防ぐことも目的として実施している養浜については、昨年度の重なる台風の影響により砂の流出が著しかった動物園東側や石崎浜で、合計約5万2千 m^3 （25mプール約170杯分）の施工を行いました。



突 堤（養浜した砂を逃さない）

シーガイアIC東側の海岸で整備を進めている突堤（計画延長300m）の延伸工事（延長45m）が3月に完了しました。

なお、突堤に立ち入ると転倒、転落等による大けがや死亡のおそれがあるため、立ち入りを禁止しています。



埋設護岸（砂丘(自然堤防)の侵食防止)

佐土原町大炊田地区の海岸の延長約1,600m区間において昨年10月に着工した埋設護岸（サンドバック工法）工事については、1月18日にサンドバックの設置を完了し、3月末の埋設作業の完了をもって、全工程を終えました。

去る4月11日には、地元代表者及び報道関係者を対象に工事完成報告会を行いました。地元代表者からは「背後地の地区住民として護岸ができて安心した」との発言がありました。

なお、平成26年度は動物園東側において、台風期明けの10月頃に着工する予定です。



今後とも「宮崎海岸の侵食対策」工事にご理解とご協力をお願いします。

『第13回石崎浜ビーチクリーン』開催のお知らせ

『宮崎の海岸をみんなで美しくする会』では、ゴミ問題を解決するために「多くの方々に海岸へ目を向けていただきたい」「市民の手でできることからはじめよう!」という主旨から海岸清掃を行っています。

今回、アカウミガメの産卵期を前に、上陸・産卵するときに障害物となるゴミや流木を取り除くことを目的とした『第13回 石崎浜ビーチクリーン』を下記のとおり開催しますので、みなさまのご参加・ご協力をお願いします。

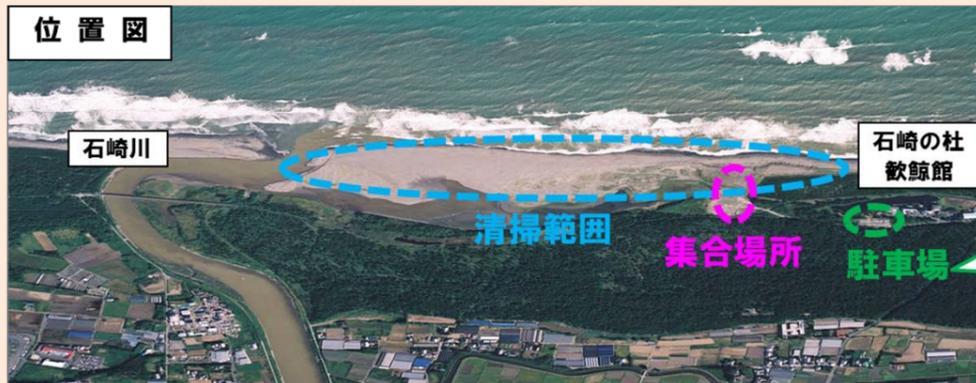
- 日時：平成26年5月17日(土) 8時～〔1時間半程度〕
※7時50分～、8時10分～の全2回、保護員によるアカウミガメの話(子ども向け)をしますので、こちらも是非参加してください。

- 集合場所：石崎浜
- 清掃範囲：石崎川河口右岸の砂浜
- 駐車場：石崎の杜 歓鯨館(旧石崎浜荘)の北側スペース

- ※車の場合は、できるだけ乗り合いでお越し下さい。
- ※動きやすい服装でお越し下さい。
- ※軍手、ゴミ袋(レジ袋可)、タオル、水分補給のための水筒等は各自で準備願います。
- ※小雨決行ですが、高波浪、強風、強雨等の悪天候の場合は中止します。
- 中止の確認は、下記連絡先にお電話ください。
- なお、電話がつながりにくい場合がありますので、団体での参加の場合は、代表者の方がご確認のうえ、団員のみなさまへの周知をお願いします。

- 連絡先：080-1531-6806〔海岸よろず相談所：谷名〕

位置図



アカウミガメの上陸・産卵



ビーチクリーンにより綺麗になった砂浜で、昨年はたくさんの卵を産むことができました。今年もご協力よろしくお願いします。

ビーチクリーンの様子



駐車場は、石崎の杜 歓鯨館(旧石崎浜荘)の北側スペースです。
(砂利で舗装されている範囲)



宮崎海岸出張所のメンバー紹介

平成26年4月より以下の新体制でスタートしました。今年度もよろしくお願いします。

new



出張所長 谷名

new



事務係長 関

new



技術係長 久木原

new



非常勤職員 重山



車両管理員 樺元

海岸に関するご相談やご意見・ご質問などありましたら

かいがん そうだんしょ
○海岸よろず相談所○

こくどうつうしょう みやざきかせんこくどうじむしょ みやざきかいがんしゅつちようしょ
〔国土交通省 宮崎河川国道事務所 宮崎海岸出張所〕

にご連絡下さい。

TEL：0985-62-7050/FAX：0985-62-7051

〒880-0211 宮崎県 宮崎市 佐土原町 下田島 9515-6

〔旧 宮崎地方務局 佐土原出張所〕

※宮崎河川国道事務所ホームページ

<http://www.qsr.mlit.go.jp/miyazaki/>

※海岸情報(宮崎海岸Publication)

<http://www.qsr.mlit.go.jp/miyazaki/html/kasen/sskondan/index.html>



記事

- ◇ 埋設護岸（サンドバック工法）でアカウミガメの産卵を確認
- ◇ 災害時協力会社による海岸巡視訓練を実施
- ◇ 第13回石崎浜ビーチクリーンの報告
- ◇ 突堤は立入禁止区域です



職員による週1回の巡視を行っています

埋設護岸（サンドバック工法）でアカウミガメの産卵を確認

今年3月に整備が完了した大炊田海岸の埋設護岸において、5月21日に初めてアカウミガメの産卵が確認（NPO宮崎野生動物研究会の現地調査）され、その後も、断続的に上陸・産卵が確認されているところです。

初めてアカウミガメの産卵が確認されたのは、海拔7m程度の養浜の上です。埋設護岸を覆う養浜の傾斜が約30度もある箇所をアスリート級!?!のアカウミガメが頑張って登り産卵したようで、私たち出張所職員も嬉しい限りです。



産卵が確認された場所

産卵場所

H26.5.22撮影



産卵が確認された場所の横断写真

産卵が確認された場所

横断線

サンドバック埋設箇所



産卵場所のサンドバック埋設養浜勾配

産卵が確認された場所

約30度の傾斜

H26.5.22撮影

しかし、場所によってはサンドバックが露出していたり、埋設されていても養浜の勾配が急であったりするため、アカウミガメが登れない箇所もあります。また、サンドバックそのものの素材の劣化を防止するためには、埋設されている状態が望ましいことから、必要に応じて追加の養浜を行います。

災害時協力会社による海岸巡視訓練を実施

5月30日（金）、台風時期を迎えるにあたり、宮崎海岸出張所で災害時協力会社（建設会社3社・12人）による海岸巡視訓練を行いました。今回は「台風通過の高波による災害発生の有無を確認するため」と想定し、各社が受け持ち区間で巡視訓練（徒歩）を実施しました。

巡視訓練では、現場状況や危険箇所を把握することに加え、被災を想定した訓練では、被災発見、被災状況の調査、巡視員から宮崎海岸出張所への報告など、一連の流れを確認しました。訓練の参加者からは「訓練を通し巡視で見るポイントや一連の流れがわかりいい経験になった。緊急時には速やかに対応できるよう日頃から備えたい」との声もあり、有意義な訓練となりました。

「災害時協力会社」とは

地震や高波浪等により災害等が予想される又は発生した場合に、迅速で的確な災害対応（災害状況の把握や応急対策工事等）を図るために、宮崎河川国道事務所と協定を結んだ地元建設会社のことです。



巡視訓練の様子

『第13回石崎浜ビーチクリーン』の報告

『宮崎の海岸をみんなで美しくする会』では、アカウミガメをはじめとした希少な動植物が生息する宮崎の海岸において、環境に配慮した海岸利用方法の検討や、海岸利用者のマナー向上のための活動を行っています。

例年、アカウミガメの産卵期を迎える時期には、上陸・産卵のときに障害となるゴミや流木を撤去するため、石崎浜で海岸清掃を行っており、今年は5月17日（土）に開催しました。

砂浜には漂着した大量の木ぎれや空き缶、ペットボトルなどのゴミが散乱していましたが、地域住民の方や市外遠方から参加いただいた方など、総勢約530名の手により、1時間ほどの清掃作業でみるみる綺麗な砂浜に変わりました。

参加された皆様のご協力により、美しくなった石崎浜に、たくさんのアカウミガメが産卵に来ています。

次回はアカウミガメのふ化期を迎える8月頃に開催を予定していますので今後ともご参加くださいますよう、よろしくお願いいたします。

アカウミガメについて説明



清掃作業の様子



ゴミ分別作業の様子



突堤は立入禁止区域です！

一ツ葉有料道路シーガイアIC東側の海岸で整備を進めている突堤は立入禁止区域としてあります。これから夏にかけて、海へ出かけることが多くなりますが、突堤の石やブロックには子どもが落ちると出られなくなるほどの隙間があり、隙間に挟まれると身動きがとれなくなります。身動きがとれないときに高い波が来ると溺れて死亡することがあります。

また、石やブロックが動いて、脚、腕、頭を挟まれたり下敷きになったりすると、大けがや死亡のおそれがあり大変危険ですので、立入禁止の柵の中には絶対に立ち入らないでください。



海岸に関するご相談やご意見・ご質問などありましたら

○海岸よろず相談所○

【国土交通省 宮崎河川国道事務所 宮崎海岸出張所】

にご連絡下さい。

TEL：0985-62-7050/FAX：0985-62-7051

〒880-0211 宮崎県 宮崎市 佐土原町 下田島 9515-6

【旧 宮崎地方務局 佐土原出張所】

※宮崎河川国道事務所ホームページ

<http://www.qsr.mlit.go.jp/miyazaki/>

※海岸情報（宮崎海岸Publication）

<http://www.qsr.mlit.go.jp/miyazaki/html/kasen/sskondan/index.html>





記事

- ◇ 台風8号が宮崎海岸に襲来！
- ◇ 「現場からのお知らせ」をホームページに掲載しています
- ◇ 「第14回 石崎浜ビーチクリーン」開催のお知らせ

台風8号が宮崎海岸に襲来！

宮崎県では台風8号の接近に伴い、7月7日より波が高くなり始め、10日の未明には6m程度(速報値)になりました。今年3月に大炊田地区で整備が完了した埋設護岸(サンドバック工法)にとっては初めての高波です。

宮崎海岸出張所では、24時間体制で監視カメラにより波の状況を確認し、緊急時の対応に備えていましたが、サンドバックを乗り越える高波がほとんどなかったのは幸いでした。

一方、サンドバックの前面に対しては波が繰り返し押し寄せたため、サンドバックを設置している約1,600mのうち約700mの区間において、土砂が流されてサンドバックが露出しました。そこで、台風が過ぎ去った後に詳しく点検しましたが、サンドバック自体の損傷などはなく、健全な状況であることが確認できました。また、サンドバック背面の砂丘高や養浜幅は台風前と変わっていなかったことも確認し、サンドバックの効果が現れたのではないかと考えています。



サンドバック背面の砂丘高、養浜幅ともに台風前のまま!!



これから本格的な台風シーズンを迎えますが、宮崎海岸出張所では、引き続き海岸巡視や監視カメラで宮崎海岸の状況を点検し、高波等の災害に備えていきます。

今後、露出しているサンドバックは再度埋設する予定です。砂浜の幅が回復していない現状ではすぐに土砂が流されてしまうことが多く、一見すると無駄な作業に見えるかもしれませんが、海岸へ土砂を供給する「養浜」の役割も果たしています。

なお、大炊田海岸では前述のとおり、台風の影響でサンドバックが露出し崖状になっています。

崖状になったところに近づくと、崖付近の土砂が崩れてサンドバック上に転落し、大怪我につながる恐れがあるのでご注意ください。(右写真参照)



「現場からのお知らせ」をホームページに掲載しています

宮崎海岸出張所では、地域の皆様に宮崎海岸の現場をより広く知って頂くため、4月下旬より宮崎河川国道事務所ホームページの海岸情報内に『海岸よろず相談所「現場からのお知らせ」』を開設しています。

宮崎海岸に関する身近な情報や工事のこと、台風時の立入禁止措置のお知らせなど、定期的に更新しておりますので、是非ご覧下さい。

ホームページ : <http://www.qsr.mlit.go.jp/miyazaki/html/kasen/sskondan/yorozu/field.html>

『第14回 石崎浜ビーチクリーン』開催のお知らせ

『宮崎の海岸をみんなで美しくする会』では、アカウミガメをはじめとした希少な動植物が生息する宮崎の海岸において、環境に配慮した海岸利用方法の検討や、海岸利用者のマナー向上のための活動を行っています。

今回、アカウミガメのふ化期を迎えたことに伴い、仔ガメが海へ帰るときに障害となるゴミや流木を取り除くことを目的とした『第14回 石崎浜ビーチクリーン』を下記のとおり開催しますので、みなさまのご参加・ご協力をお願いします。

○開催日時：平成26年8月9日（土）8：00～9：30

※保護員による子供向けの『アカウミガメの話』や『海岸周辺の希少植物の話』がありますので、こちらも是非参加してください。（全2回）

『アカウミガメの話』 7：40～7：50、8：10～8：20

『海岸周辺の希少植物の話』 7：50～8：00、8：20～8：30

○集合場所：石崎浜

○清掃範囲：石崎川河口右岸の砂浜

○駐車場：石崎の杜 歓鯨館（旧石崎浜荘）の北側スペース

※当日は、**熱中症**や怪我に十分注意してください。

※車で来られる場合は、できるだけ乗り合いでお越しください。

※ゴミ袋（レジ袋可）、軍手、タオル、帽子、**飲み物**等は各自で準備願います。

※小雨決行ですが、高波浪、強風、強雨等の悪天候の場合は中止します。

中止の確認は、下記連絡先にお電話ください。

なお、電話がつながりにくい場合がありますので、団体での

参加の場合は、代表者の方がご確認のうえ、団員のみなさま

への周知をお願いします。

○連絡先：080-1531-6806〔海岸よろず相談所：谷名〕

障害物により海へ帰れない仔ガメ



早く海へ帰らないと
干からびちゃうよ...(涙)

前回(H26.5.17)ビーチクリーンの様子



駐車場は、
石崎の杜 歓鯨館（旧石崎浜荘）の
北側スペースです。
（砂利で舗装されている範囲）



位置図



熱中症の予防について

熱中症とは、室温や気温が高い中での作業や運動により、体内の水分や塩分(ナトリウム)などのバランスが崩れ、体温の調節機能が働かなくなり、体温上昇、めまい、体がだるい、ひどいときにはけいれんや意識の異常など、様々な症状をおこす病気です。

【熱中症予防のポイント】

- のどが渴いたと感じたら、必ず水分(スポーツドリンク等)を補給しましょう。
- のどが渴かなくてもこまめに水分を補給しましょう。
- 通気性・吸水性の良い服装で、帽子をかぶり直射日光を防ぎましょう。
- 無理をせず、適度に休憩をとりましょう。

海岸に関するご相談やご意見・ご質問などありましたら

○海岸よろず相談所○

〔国土交通省 宮崎河川国道事務所 宮崎海岸出張所〕

にご連絡下さい。

TEL：0985-62-7050/FAX：0985-62-7051

〒880-0211 宮崎県 宮崎市 佐土原町 下田島 9515-6

【旧 宮崎地方法務局 佐土原出張所】

※宮崎河川国道事務所ホームページ

<http://www.qsr.mlit.go.jp/miyazaki/>

※海岸情報（宮崎海岸Publication）

<http://www.qsr.mlit.go.jp/miyazaki/html/kasen/sskondan/index.html>

